

総合評価一般競争入札 落札者決定基準

購入件名	広島県防災ヘリコプター 一式			
納入場所	広島県防災航空センター			
調達概要	防災ヘリコプター（装備品・付属品含む一式）の買い入れ			
項 目	評価項目		評価基準	配点
共通事項	仕様書	仕様書要件への対応状況（必須）	仕様書記載の要件に対応可能かを確認し、仕様要件を満たしていなければ失格	—
技術評価	ランニングコスト	(部品費) 部品費・保守点検費	20年間（総飛行時間6000時間）の部品費・保守点検費の合計額の低さに比例して評価	85
		エンジンオーバーホール	20年間（総飛行時間6000時間）に必要となるエンジンオーバーホール費用の低さに比例して評価	20
		(燃料費) 燃料費	20年間（総飛行時間6000時間）の燃料費の低さに比例して評価	30
	性能	(構造) 座席数	最大席数に応じて評価	1
		キャビン容積及びキャビン仕様について評価	キャビン容積の大きさ、救急用担架1基装備時の席数、客室から荷物室への通貫仕様に応じて評価	4
		客室ドア開口部について評価	客室ドアの開口部の最大幅に応じて評価	1
		左右開閉窓について評価	操縦席及び客室の左右に、ヘルメットを被った状態で頭部を出すことが可能な開閉窓の設置を評価	1
		最大全備重量について評価	最大全備重量の大きさに応じて評価	1
		(安全性) 機体の安全性について評価	耐空性審査要領（改訂第61号）の適合項目数に応じて評価	5
		先進的安全装備について評価	安全性の向上につながる装備又は機能に応じて評価	7
		(性能) 空中消火能力について評価（必須）	投下水量の多さに比例して評価	5
		山岳救助能力について評価（必須）	吊上げ可能重量の多さに比例して評価	5
		救急搬送能力について評価（必須）	救急搬送時の余剰積載能力の大きさに比例して評価	5
		広域支援能力について評価（必須）	輸送可能距離の長さに比例して評価	5
		(騒音) 騒音値	離陸、進入、上空通過の騒音値の低さに応じて評価	1
		(装備品) イリジウム衛星電話及び動態管理システムについて評価	イリジウム衛星電話及び動態管理システムについて、機外アンテナの設計やキャビン内の配置に応じて評価	2
		機外救助用ホイスト装置について評価	機外救助用ホイスト装置の吊上げ可能重量や巻き上げ速度に応じて評価	2
		ヘリコプターテレビ電送システムについて評価	ヘリコプターテレビ電送システムの設計、配置、重量等の提案内容に応じて評価	3
		装備品の重量	装備品の重量の低さに応じて評価	2
	安定運航	(納期) 納入時期について評価	納入時期の早さに応じて評価	3
		(保証) 部品定額保証サービス提供の評価	部品定額保証サービスの提供があるかを評価	2
		(支援体制) 技術支援体制について評価	不具合発生時の電話連絡体制及び技術的な問い合わせに対する支援体制の提案内容に応じて評価	10
		部品供給体制について評価	国内での機体部品の供給状況、主要部品の供給までに要する標準的な期間等の提案内容に応じて評価	10
		(研修) 研修訓練体制について評価	操縦士及び整備士に対する研修訓練体制、訓練教官、教材の提案に応じて評価	6
		(点検・整備期間) 点検・整備日数について評価	20年間の整備点検、耐空検査及び耐空検査と同時に実施する定期点検に要する日数の少なさに比例して評価	7
		消防防災ヘリコプターにおける運航状況について評価	広島県が調査した令和2年度から6年度までの提案機と同機種の消防防災ヘリコプターの平均運航実績に応じて評価	8
		(運航委託) 運航受託可能事業者について評価（必須）	運航受託可能な事業者の数及び受託実績に応じて評価	4

合 計		300
価格評価の配分点		65
技術評価のうちランニングコストに係る配分点		135
技術評価のうち性能に係る配分点		50
技術評価のうち安定運航に係る配分点		50
価格評価点	価格評価の配分点×（1－（入札価格）/（予定価格））	65
ランニングコスト 評価点	ランニングコストに係る各得点の合計	135
性能・安定運航評 価点	性能や安定運航に係る各得点の合計	100
評価値	価格評価点＋ランニングコスト評価点＋性能・安定運航評価点	300

※1 端数処理については、小数点以下第2位切り捨てとする。

※2 必須項目として設定した評価項目については、要件を満たさない場合は失格とする。

※3 性能・安定運航評価点に係る要求水準は50点以上とし、これを満たさない者は落札者とししない。